




令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日		R7.6.19				
担当		環境農林課				
グループ名		環境保全グループ				
記入者名						
1 事業概要						
(1)事業名	小川町環境基本計画推進事業費					
(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業			
(4)第5次総合振興計画での位置づけ	(5)予算・財源等の別					
①基本目標	快適な環境のまちく生活環境の整備					
②大項目	環境負荷軽減対策					
③中項目	脱炭素型の持続可能な社会づくり					
④施策	再生可能エネルギーの活用 脱炭素ライフの推進					
⑤施策コード	4・4・2・1	掲載ページ	75 ページ			
(6)実施根拠	(7)総合戦略					
①事務分類(自治・法定受託)	自治事務					
②根拠法令・条例等	環境基本計画					
③事業期間	開始	不明	年 月 から 終了 未定 年 月 まで			
2 事業の目的・内容等						
(1)目的(何のために行うか)		(2)内容(どのような取り組みか)				
令和3年2月に本町として2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言した。今後、地球温暖化対策に資する「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」を積極的に推進するとともに、工場・事務所、運輸などの部門で省エネ化や二酸化炭素排出の抑制に取り組めるよう支援する。		地球温暖化対策として、二酸化炭素排出量の抑制など環境への負荷を軽減する取組みを行政が率先し、町民、事業者と一体となって推進する。地域脱炭素移行・再エネ推進事業の計画を策定し、公共施設等の脱炭素事業を推進する。				
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)		(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)				
町民、事業者		脱炭素社会の実現、ゼロカーボンシティの実現 (二酸化炭素排出量実質ゼロ)				
対象数	27,290	単位	人			
(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)						
災害時の非常用電源の確保及び平時からの再生可能エネルギーなどの活用を推進する社会情勢や住民の環境への配慮の意識が強くなってきている。 当町としても各家庭の脱炭素に向けた取り組みを支援する「小川町ゼロカーボンシティ推進補助金」制度を創設して太陽光発電設備や蓄電池システム等の導入費用の一部を補助している。						
(6)SDGsへの貢献						
       						
3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)						
(1)事業(内容)名称		小川町環境基本計画推進事業費				
項目	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費内訳	報酬	128	0	0	0	116
	報償費	155	840	0	0	0
	需用費	79	40	63	171	151
	役務費	126	0	0	0	0
	委託料	2,915	0	1,819	3,960	4,290
	その他	3	3	2,115	1,867	2,295
	直接事業費合計	3,406	883	3,997	5,998	6,852
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	1	1	0	0	1
	一般財源	3,405	882	3,997	5,998	6,851
	合計	3,406	883	3,997	5,998	6,852
(4)補助金名						
(5)人件費						
	投入職員数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	年間人件費	3,814	3,771	3,761	3,886	4,016
(6)総事業費		7,220	4,654	7,758	9,884	10,868
サービス量(人)		28,494	28,046	27,774	27,290	27,290
サービス単価		0.3	0.2	0.3	0.4	0.4
(単位)		千円/町民1人あたり				

4 指標の検証				小川町環境基本計画推進事業費		
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量)						
指標名	環境保全活動団体(補助金活用団体)	目標値	団体	5	5	5
		実績値	団体	4	7	
		達成率	%	80.0	140.0	
		目標値				
		実績値				
達成率						
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	温室効果ガス(CO2換算)の削減率(%) (総振目標指標p76)R7年度目標値16% ※実績値は、各年度の2年後に発表になります。	目標値	%	12.0	14.0	14.0
		実績値	%	-	-	
		達成率	%	-	-	
		目標値				
		実績値				
達成率						
(3)その他指標に現れない成果						
令和2年度 21.0%削減 令和3年度 21.1%削減 令和4年度 24.5%削減						
※ただし、計画策定時の基準H17(2005)年比の削減率						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている	
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である	
					3 その他()	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている	
					2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である	
					3 その他()	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している	
					2 他に有効な代替手段が見当たらない	
					3 その他()	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	1	1 サービス単価は減少している	
					2 サービス単価を維持している	
					3 その他()	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている	
					2 おおむね公平に分配されている	
					3 その他()	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上まっている 2 どちらともいえない 3 成果が下まっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている	
					2 成果指標は、前年度より向上している	
					3 その他(実測値の発表が各年度2年後になるため。)	
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した	
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した	
					3 その他()	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
令和4年3月に小川町環境基本計画等を改定。 今後もゼロカーボンシティ宣言の町として、脱炭素社会の実現に向けた取組みを推進していく必要がある。						
6 事業の方向性の判断				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合		
評価主体	評価	評価についての説明				
(1)一次評価 (担当課長)	1 拡充	ゼロカーボンシティ実現に向けた取組みを推進するため、国の補助金の活用も検討する必要がある。				
(2)二次評価 (政策推進課長)						
(3)最終評価 (町長)						